



3Dメガネをかけ4次元シアターを体験する児童たち

科学の楽しさ体験

光ファイバー 偏光板 4次元シアター

2月11日、中央小学校で「おもしろ科学体験」が行われ、5・6年生の児童101人が科学にまつわる様々な実験や工作を体験しました。

この体験学習は、子どもの理科離れが進むなか、科学の楽しさを知ってもらおうと、京都大学と府教育委員会の連携事業として実施されたもので、同大学の理学部や農学部の学生ら17人が講師を務めました。



偏光板の仕組みを学ぶ児童たち

また、校舎内のランチルームに「4次元デジタル宇宙シアター」が設けられました。児童たちは3Dメガネをかけて、立体的に月の誕生の観察や宇宙旅行を疑似体験。目の前に飛び出す銀河の迫力に驚き「つかめそう!」と手を伸ばしてみるなどして大興奮でした。

体育館内に設置された12の科学体験ブースでは、児童たちが光ファイバーを使った「光のツリー」作りや、特定の方向にだけ光を通す偏光板を使い、物の見え方の違いなどを体験。学生による実演や作り方の説明を受けながら、実際に触れて科学の仕組みを学びました。

古典落語に親しんで

さくら小学校で2月7日、落語の鑑賞会が行われ、3年生65人が古典落語に親しみました。

同授業は、目だけでなく、耳で聞いて想像することで面白さを感じる力を養ってもらおうと、落語家の林家染八さんを招いて行われました。はじめに、染八さんが、落語は扇子と手ぬぐいを筆や箸、紙、食べ物などに見立てて使用することや、声色や表情、身体の向きを変え、一人何役も演じていることなどを説明。

プロに教わり児童が一席



高座でうどんをすすする演技を体験する児童

次に、3人の児童が寄席の舞台(高座)に座り、染八さんの指導を受けながら、駄じゃれ風の小話やうどんをすすする演技などに挑戦しました。最後は染八さんが演目「時うどん」を披露。児童たちは、複数の役を使い分け、面白おかしく演じる姿に、大笑いしながら落語を楽しんでいました。牧野晃大君(9)は「緊張したけど、手を挙げて当ててもらったから頑張ろうと思った。うどんをすすする演技は、音を出すのが難しかったけど面白かった」と話していました。



鬼に向かって豆をまく園児たち

鬼やっつけたよ

橋本幼稚園で豆まき

橋本幼稚園で2月3日、節分行事が行われ、同園にやってきた市商工会青年部の部員扮する鬼に向かって、87人の園児たちが豆をまきました。

同行事は、豆をまいて鬼を追い払うことで体を強くし健康になってもらうことが目的。今年は市内で地域貢献活動を行う同会の協力により実施されました。

「ドーン、ドーン」と大きな太鼓が鳴り、棒を持った赤鬼と青鬼が登場すると、元気に「鬼は外! 福は内!」と言いながら一斉に豆をまく園児たち。中には追いかけてくる鬼に泣いてしまう園児もいましたが、勇気を出して豆をまき、鬼を園から追い払いました。

その後、園児たちは年齢に1を足した数の豆を食べ、心の中の「怒りんぼう鬼」や「泣き虫鬼」などをやっつけるとともに、今年もみんなで事故やケガなく過ごせるようお願いしました。

前田蒼ちゃん(6)は「鬼は怖くなかった。いっぱい豆を投げたら、鬼が『痛い、痛い』と言って逃げたから楽しかった」とうれしそうに話していました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

おやじたち熱演 青春の音色



トランペットを演奏する吉川さん(中央)

89歳 オープンベ ット奏者

文化センター大ホールで2月5日、メンバーの半数が40歳以上のバンドが出演する「おやじたちのコンサートパートVI」が開催され、約780人の来場者でにぎわいました。

同コンサートは、「おやじたち」がともに青春を過ごした懐かしの曲などを、大きなステージで演奏して楽しんでもらおうと開催されています。

オープニングでは、出演バンド中最年長で、市内在住の吉川鉦晴さん(89)

がリーダーを務める「スカイラークスジャズオーケストラ」が、名曲「セレソローサ」などを演奏。続いて9バンドが、フォークやハードロックのカバー曲やオリジナル曲を披露すると、来場者は楽曲に合わせて手拍子をしたり、体を揺らしたりしながら笑顔で楽しんでいました。

全バンドの出演後、ゲストで「シモンズ」の田中ゆみさんがコンサートを行い、会場を一層盛り上げました。